

令和5年

8月号

No.646

今月
の
ご法話

素直な心で

法音

日蓮宗
法音寺



信仰の指針

し
ち
じ
き

質直

素直な心で

行学に励みましよう

日教五



夏つばき



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

素直な心で

先日の御開山会の挨拶の中で「大悪は大善の来るべき瑞相なり」（悪いことの後には必ず良いことが来る）というお話をさせていただきました。この言葉は日蓮聖人の御遺文『智慧亡国御書』にあります。

当時、鎌倉一帯は天変地異が並び起こっていました。正嘉の大地震は一番有名ですが、その他にも不吉な大彗星が現れたり、疫病が流行ったりしたので、数年のうちに何度も元号が変えられています。これを「災異改元」といいます。また幕府の内乱である北条時輔の乱が起り、さらに蒙古襲来がありました。これらを日蓮聖人は「大悪」と言われたのです。北条時輔の乱と蒙古襲来は、『立正安国論』に予言されたものが現実となってしまいました。



「大悪の後に大善が来る」というのは、どういう意味かというと、日蓮聖人が言われるのは、「世界中に害悪が充満して混乱に陥れば、逆に、唯一の正法である法華経のお題目が世界中に広く流布することの疑いのない瑞相である」ということです。悪いことが並び起こることによって、正しい教えに帰依しなければいけないと人々が正気に戻って、その結果お題目が流布するようになる」と日蓮聖人は考えられたのです。

日蓮聖人は「大悪は日本の人々が正しい教えを信じていないから、起こっているのだ」と諸宗と幕府を批判されました。諸宗批判とは四箇格言に言われる「念仏無間・禅天魔・真言亡国・律国賊」です。中には法華経を誦する宗派もありましたが、日蓮聖人は「お題目を唱えなければいけない」と言われました。さらに「間違った教えを流布させている大元は幕府である。その最高権力者であった北条



ときより 時頼・重時両入道は今、無間地獄に堕ちている」と主張し
つづ 続けたことで幕府の勘気を被り、その結果、遂に佐渡に流
罪となられたのです。

佐渡流罪中、日蓮聖人は昼夜を問わず、高い山に登って
大きな声で叫んでおられたそうです。

最近、日蓮宗教師で兵庫県立大学名誉教授の岡田真水先
生が『大音声をはなちて』という文章を発表されました。

岡田先生は東京大学を卒業後、ドイツに留学され、文学博
士の学位を取られたという方です。

その発表された文章の中に『光日房御書』の中の一節が
引用されています。

「急ぎ急ぎ国土に駈を出ださせ給いて本国へ還させ給えと、
高き山に登りて大音声を放ちて叫び」

私は日本の国を救おうと思っでやっっているのだ。早く鎌



倉へ返せ」と大きな声でおっしゃったということです。

『種種御振舞御書』にも次のようにあります。

「夜もひるも高き山に登りて、日月に向かつて大音声を放つて上を呪詛し奉る。その音声一国に聞ふと申す」

「上を呪詛し奉る」というのはこうです。「梵天・帝釈天

・日天・月天・四天王はどうなされた。天照大神・八幡大

菩薩はこの国におられないのか。法華経の行者を守るとい

う釈尊との誓いをなせ果たされぬ。もし日蓮を守らず見捨

てるならば、法華経に大嘘をついた罪によって地獄に墮ち

はで、這い出られぬことになる。その罪おそろしと思ふならば、

急ぎ急ぎ予言したように内乱の現証を示され、日蓮を鎌倉

へ返されよ」と、諸天善神を諫められたのです。

この自信、日本国を思う心、何人も及ばないものです。

こう言われた後に日を待たず、現証が現れました。北条



時輔ときすけの乱らん、いわゆる「二月騷動がつそうどう」が起おこったのです。『立りつ正安国論しょうあんこくろん』の預言よげんが的てき中ちゆうしたのです。これに幕府ばくふは驚おどろいて、それまで牢屋ろうやに入れていた日蓮聖人にちれんしょうにんの弟子達でしたちをただちに赦しゃ免めんにしました。

しかし、日蓮聖人にちれんしょうにんに対しては佐渡流罪さどるざいを赦免しゃめんすることはありませんでした。すると日蓮聖人にちれんしょうにんは、さらに強つよく諸天しよてんを諫いさめられたのです。その結果けっかどうなったか。これも『光日房御書こうにちぼうごしょ』の中なかにあります。

「いよいよ強盛きやうじやうに天てんに申もうせしかば、頭かしらの白しろき鳥からず飛とび来きたりぬ。彼の燕かえんの丹太子たんたいしの馬鳥うまからずの例れい：」

高たかい山やまに登のぼって、天てんは何なにをしていいるのだ。早はやく私わたしを赦しゃ免めんして鎌倉かまくらへ返かえせぐといよいよ強盛きやうじやうに言いわれると、白しろい頭あたまの鳥からずが飛とんできたのです。

頭あたまの白しろい鳥からずは、普段ふだんは妙音菩薩みょうおんぼさつにつき従したがって天上界てんじやうかいに住す



んでいると言われます。また、頭の白い鳥は信仰の篤い人間の前にしか姿を現すことはないとも言われています。

しかし、時に一心に天に向かって祈るものがあると、そこに舞いおろるとい話もあります。そこで日本では頭の白い鳥は古来より吉瑞をもたらす霊鳥として崇められてきました。

日蓮聖人が言われた「燕の丹太子の云々」というのは、これは中国の戦国時代（紀元前3世紀頃）の話に基づいています。

秦王・政（のちの始皇帝）は、破竹の勢いで次から次へと他国を攻め滅ぼしていききました。次に狙われたのが燕という小さな国でした。燕は、攻め込まれたらひとたまりもありません。そこで太子の丹は、老いた母を残して国を守るために、人質として秦に赴いたのです。秦王・政はすぐ



太子を牢屋に幽閉しました。太子は暗い牢屋で老母のことを思いながら過ごしました。

ある日、太子は牢屋から秦王・政の前に引き出されました。いよいよ命もこれまでかと思われた時、太子は涙を流しました。秦王・政は「命が惜しいのか」と冷たく言い放ちました。それに対して太子は

「一国の民を守るために命を投げ出すつもりで来たのだから、命などは惜しくはない。ただ老母が私のことを思い、心配しているだろう。死ぬ前に一目私が元気でいる姿を見せてやりたい。どうか死ぬ前に一度だけ母に会わせてほしい」と懇願したのです。

すると秦王・政はあざ笑いながら、こう言ったのです。

「もし馬に角が生えて、カラスの頭が白くなったら、お前に暇をやるう」

それから太子は母親のために昼夜をわかつたらず一心に祈り



つづけたのです。すると、ある日、なんと角の生えた馬が宮中（みやちゆう）にかけ込み、頭の白い鳥が宮中の庭前の木に飛んで来たのです。

それを見てさすがの秦王・政も驚き、「本国に帰るがよい」とつぶやくのがやつとであつたといひます。

そのことが日本の平家物語にも出ています。

「始皇帝、烏頭馬角の変に驚き、綸言（天子の言葉）返らざる事を信じて丹太子を宥めつつ、本国へこそ帰されけれ」
「至誠天に通ず」。一心を込めた祈りの叶わぬことはないのです。妙音菩薩は太子の孝養の志を哀愍されて、角のある馬と一緒に頭の白い鳥をさしつかわされ、太子を故国へ帰されたのです。

日蓮聖人は頭の白い鳥を見られ、ご自分が帰る時期が近づいたことを悟られました。この後、文永十一年二月十四日に赦免状が下り、それが三月八日に佐渡に届いたので。



ほんとう ちゆうごく
本当に中国の故事の通りとなったのです。

せんじつ ごかいさんえ
先日、御開山会の法要の後に参詣された役員の方々と面
かい ととき にちれんしょうにん
会をした時、「日蓮聖人は佐渡で高い山に登って大音声で
さけ 叫ばれたんですよ」と、この話をしました。

ごじつ あまくさふ きやうしよたんにん
そうしましたら、後日、天草布教所担任の吉屋かおるさ
んがお手紙をくださいました。

せんじつ ごかいさんえ
「先日の御開山会ありがとうございます。日蓮聖人さま
のお話を聞かせていただき、島の一番高い所から広宣流布
ねが のお願いをさせていただいております。大きな声で頑張っ
ています。山首上人さまのお話を聞かせていただいて、名
ごや 古屋までお参りさせていただいたこと、最高の喜びとなり
ました。感激いたしました」

にちれんしょうにん たか やま のぼ
日蓮聖人が高い山に登って叫ばれたという話を聞いて、
そくじつこう ひんど
それを即実行する人がいるということに私は感心しました。



また、こういうことが大事だと強く思いました。

15世紀のヨーロッパのお話です。ドイツのトマス・ア・ケンピスというキリスト教の神父が『イミターシヨ・クリステイー（キリストのまねび）』という一冊の本を書き、ヨーロッパで大ベストセラーになりました。

『イミターシヨ・クリステイー』というのは、キリストの真似ということです。「何にも詮索しないで、黙ってキリストのした通りにする。ただ真似るのである。するといつしか、その意味するところも、ああそうであったのかとわかってくる時が来る。一生懸命になってひたぶるに真似るのである。それが本当のキリスト者の生き方である」これがトマス・ア・ケンピス神父の主張です。

常識の世界では、真似るということはつまらない、浅は



かなことだと考えます。猿真似という言葉があるくらいです。人の真似をするのはあまりほめられたものではない、人間は自分で考えて自分の判断で行動しなければいけない。常識ではそう考えます。しかし、信仰の世界は違うのです。自己の計らいを捨てなければならぬという場合があるのです。

永平寺の開山である道元禪師が雲水達に言われています。「学道の人には人情を棄つべき也」
学道の人というのは仏道を学ぶ人、人情とは世間の常識です。仏道を学ぼうとする人は世間の常識を捨てるべきであるということです。

また、こうも言われています。

「仏道に入るには、我がこころに善悪を分けて、良しと思
い悪しと思ふことを捨てて、我が身よからん、我が意なに



とあらんと思おもうところを忘わすれて、良よくもあれ、悪あしくもあれ、仏祖ぶつその言げん語ご行あん履りに随したがいゆくなり」
自分じぶんの良よい悪わるいという分別ぶんべつを離はなれて、仏ほとけさまや祖師そしたち達の言いわれたこと・行おこなわれたことを真まね似ねしていけいと言いわれるのです。

現代げんだいにおいては、トマス・ア・ケンピスや道元どうげん禅師ぜんじが言いわれたようにそのまま実行じつこうすることはむずかしいかもしれ
ません。しかし、私わたしは吉屋よしやさんのように素直すなおに純粋じゆんすいな心こころで、
信仰しんこうしていくことが大だい事じであると思おもいます。お自じ我が偈げに説と
かれる「質直しちぢき意い柔じゆう軟なん」「柔和じゆうわ質直しちぢき者しや」とは、このことだと思おもいます。
素直すなおな心こころで理屈りくつぬきで信仰しんこうをする人ひとには、常住じょうじゆうの仏ほとけさま
のお姿すがたが見みえるのです。



良い教えの話聞きましよう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましよう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	8月2日(水)	一宮支院	8月5日(土)
上野支院	8月10日(木)	静岡支院	8月12日(土)
岡山支院	8月13日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	8日・19日・26日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	5日・16日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・11日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・12日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・20日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・6日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・26日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	6日・20日	郡上市八幡町小野7-2-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・10日・20日	伊賀市上野向島町3-4-7-5	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	11日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	13日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	6日・11日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	12日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	6日・8日・13日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	5日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	6日・13日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	12日・27日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	5日・16日・20日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	11日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	6日・15日・20日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	12日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)441-5445
筑後布教所	13日・27日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	13日・20日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・26日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	27日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※山形布教所は諸事情により、活動を停止することになりました。今後は本部・東京支院で対応いたします。
 ※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

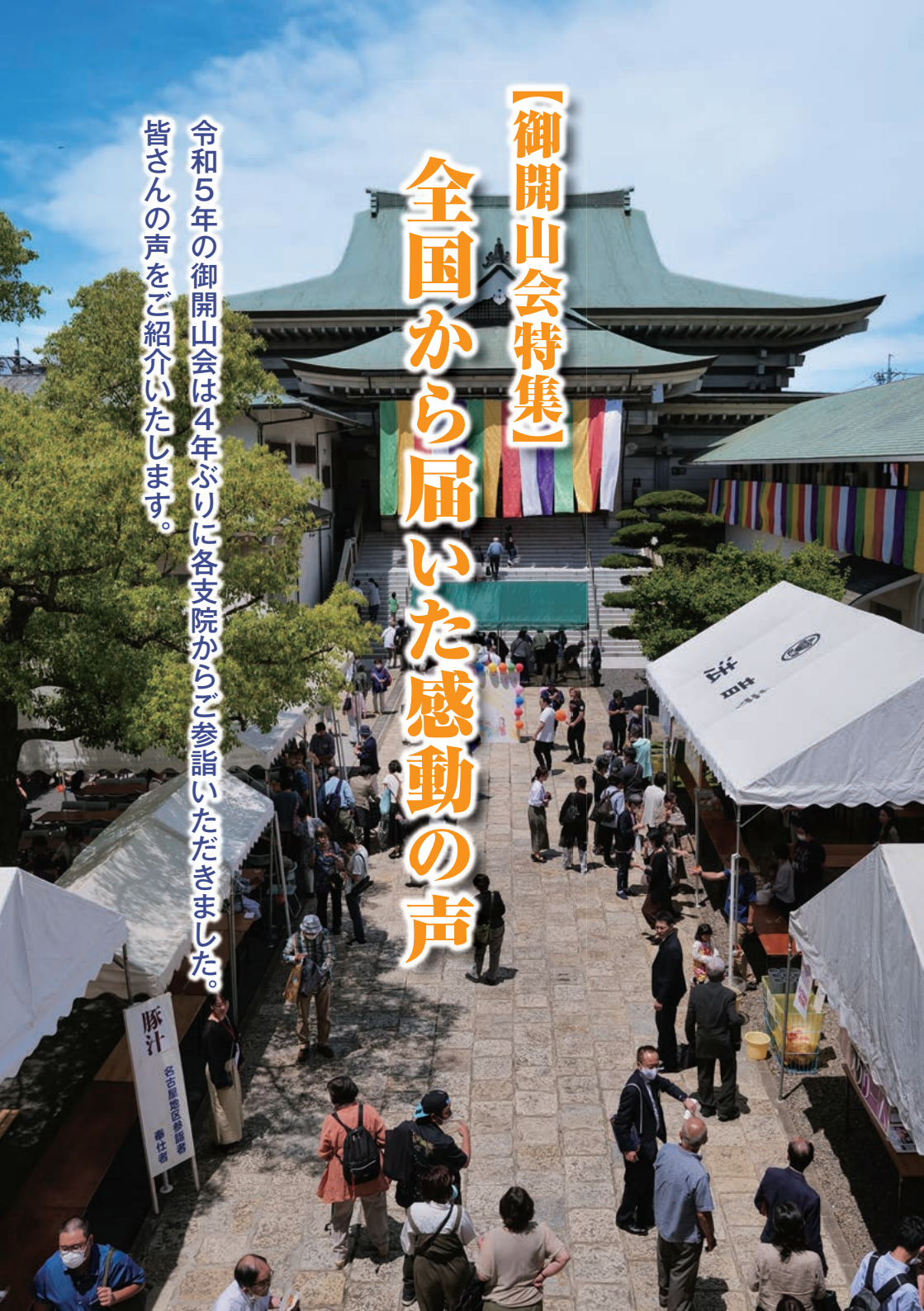
「御開山会特集」

全国から届いた感動の声

令和5年の御開山会は4年ぶりに各支院からご参詣いただきました。
皆さんの声をご紹介します。

豚汁

名古屋地区御開山会
奉仕者



東京の人

○御開山会は特別な一日です。参詣を楽しみにしていました。今年も、「心配する心で信心せよ」との山首上人さまのお言葉に勇気をいただきました。

○法要開始前に流れる動画で、三先師と日達上人のお姿を拝見しました。いつものことながら直接にお会いしているような気がして、とても懐かしい、ありがたい気持ちになります。

○「よく持ち奉る」の誓言から皆さん気合が感じられました。この一声にかける皆さんの思いがよくわかりました。

静岡の人

○師衆昇堂の時の、お題目がだんだん大きくなつて堂内に響き渡つていく様子や、その声に感動しました。息子もお経がすばらしかったと言いました。本当にありがたい一日でした。

○主人の体調が最近思わしくなく、何とか御開山会に行きたいと思つていま

した。山首上人さまにお徳をお願いしました。お陰さまでとても元気に、何事もなくお参りさせていただくことができ感謝申し上げます。

○車イスの母に、皆さん「よくいらつしゃいました」と声を掛けてくださりうれしかったです。本山にお参りでき、直に山首上人さまにお目にかかれて、やっと来られたのだなあと実感しました。

豊川の人

○御開山会の前日は楽しみでよく眠れませんでした。当日、ご奉仕の方々の明るい笑顔といきいきとした姿を拝見し、ご挨拶もいただいで、とてもうれしくなりました。法要が始まり、お経を唱えると重くなつていた心が軽くなり、すがすがしい気持ちになりました。

○本堂で、他の支院の方々とともにお経を唱えていると心が高揚し、また、この場に來られたこと、皆さんにお会いできたことに感謝いたしました。





○久しぶりに他支院の方のお顔を見ることができ、心よりうれしく思いました。少しずつでもこうしてお参りできる機会があることに感謝して、次も皆さんと笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

安城の人

○4年ぶりに御開山会に参詣できて、ただただうれしさと安心感の連続でした。山首上人さまの、大悪は大善の来るべき瑞相なりのお言葉に一層の大きな安寧に包まれました。

○僕は大勢のお上人さまが、散華を降らせて入堂された時はビックリしました。法要も立派で驚きました。バザーの人は皆さん親切でした。5年生の女の子が手伝っていたので、僕もバザーで奉仕をしてみたいと思いました。

○久しぶりに他支院の方々ともお目にかかり、4年ぶりの再会を喜び合いました。コロナ禍の中でもずっと気遣ってくださっていた慈悲のお言葉に接して感激しました。全国に法音寺法友の方々がいらして幸せです。

佐屋の人

○御開山会は何度も来ていたつもりでしたが、今日は初めてのように新鮮で

した。今日出席できなかった人の分まで楽しませていただき、ありがとうございます。

○4年ぶりの御開山会に参詣できて大変わうれしく思っています。10年ぶりに大阪支院の懐かしい友にも会うことができ、うれしい感謝の御開山会でした。

○山首上人さまのご挨拶で、大悪の後には大善が訪れることをお教えいただき、大変心強く励みとなりました。今まで以上にお徳積みに努めてまいります、とお誓いいたしました。

一宮の人

○日頃の健康に感謝して、主人と参詣させていただきました。山首上人さまのお話も拝聴できて、ありがたかったです。

○妹や甥っ子と一緒に参詣できてよかったです。三年ぶりのバザーもおおいしくいただきました。

○先師先哲、山首上人さま、お上人さま方、またご奉仕の方のお陰で開催さ

れたコロナ明けの御開山会は、まるで
仏さまの世界にいるようでした。

西春の人

○昨年のリモート御開山会では感じられ
ない忘れかけていた雰囲気を感じ、
参加できうれしかったです。

○支院ではすべて椅子席なので、久々
の正座で少し足が痛かったのですが、
4年ぶりにお参りができてありがたか
ったです。

○送迎車やバザーなどもご用意くださ
り感謝します。お天気も良く、お弁当
がとってもおいしくて、普段会えない
支院の方々とも楽しくお話ししながら
いただきました。

岐阜の人

○法要が進み、開経傷になると参詣者
皆さんの発声の本堂いっぱいに響き渡
りました。コロナ以前と同じだと思い、
とても幸せを感じさせていただきました

た。

○過去3年のさまざま（今も続く？）

な出来事が多くの人々に、苦しく辛い
思い出となったことを、一瞬にして消
し去る力を感じる一日となりました。

○最前列に近い所に座することができ、
山首上人さまやお上人さま方の整然と
した様子も間近で拝見できて大変感動
させていただきました。この気持ちを
忘れずにこれからも感謝していきたい
と思います。

大垣の人

○ご奉仕の方々のすがすがしい対応に、
心が晴々して感動しました。

○法要前の動画では「一日一日がんば
ろう」と心を奮い立たせていただき、
久々の法要は新鮮に感じました。

○駐車場で車椅子での移動に苦労して
いますと、ご奉仕の青年会の方々が
手伝いください、大変助かりました。



関の人

○高齢の母を誘って妹達と4人で参詣
しました。母が「元気をもらった。お
参りできてよかった」と喜んでくれた



ので私もうれしかったです。来年もお参りできることを祈っています。

○沈みがちな心が山首上人さまのお話を聞いて前向きになりました。対人関係も良くなり、感謝しています。

○お徳がいっぱいあふれている本山にお参りでき、「心配する時間があつたら、その分お徳を積んで祈りましょう」と山首上人さまの力強いお言葉に勇気

をいただきました。高齢になり病院通いが増えています。くよくよしないでお徳積み励みます。

平賀の人

○久しぶりに夫婦そろって参詣いたしました。山首上人さま・式衆の皆さまの読経をいただき、私どもも大きな声で唱えさせていただきました。散華舞う極楽に会えたこと、喜びに感謝です。健康で参詣できること、ありがたさを、あらためて実感いたしました。

○久しぶりの団参に妹と二人で、無事参詣することができました。亡き母・長姉がつないでくれた法縁を、ありがたく感じました。これからも御法を杖として、一日も長く、この御縁を持ち続けたいと思います。

○昨年12月に主人が旅立ちました。結婚以来、本山団参・支院の行事にと、二人揃って出席させていただくことをあたりまえと思つて、喜んでお詣りしてきましたが、昨年のリモートでの参

詣が二人の最後の良き思い出となりました。今朝は、仏壇にお参りして「行ってきます」と出かけてきました。

郡上八幡の人

○ご奉仕の方々の温かいおもてなしや、本堂での大法要の荘厳な雰囲気につれて、懐かしさとともに大変ありがたく





感激しました。
○法友との再会、本堂での大法要と何もかもが輝いていて、とても良いことが起こりそうな、新しい一歩が始まった気がしました。
○散華がいつばい舞う、久し振りの御開山会はとても気持ち良く、うれしく思いました。散華が届かなかった人への「おすそわけ」も和気あいあいと、笑顔いっぱい交流ができました。

四日市の人

○今回初めてお誘いした方が法要後に「これからの生き方を変えていく」と喜ばれ、自分のことのようにうれしく思いました。ご縁のある方々と一日をともにしてありがたく良い思い出になりました。

○本山でお迎えくださった青年会の方が「今日の日にご奉仕をさせていたただくことが大変幸せなことです」と言われました。その方の本当に明るく良い表情に私もうれしくなりました。

○御開山会にお参りしてお徳をいただいたお陰です。帰路の八事霊園墓参の時、体力的にとても無理と思っていた足が不思議と動き、先師の御廟にお参りすることができました。

上野の人

○コロナ禍が続いたため、久しぶりとなった本山での御開山会。すばらしい法要に参加できたことを本当にありが

たく思います。

○久々の本山での御開山会。堂内に散華が舞い、読経が響き、皆さんの声の一つになる様に、感動で胸いつばいになりました。御経頂戴では「よく持ち奉る南無妙法蓮華経」と大きな声で、心新たにお誓いいたしました。

○ご奉仕くださる皆さんの笑顔と優しさのお陰で、気持ち良い1日を過ごすことができました。山首上人さまのご法話に勇気をいただき、日々の精進につなげていきたいと思えました。

京都の人

○立派で厳かな本堂が、大勢の信者さままで満ちあふれており感動いたしました。少しでもお徳が積めるように頑張りたいと思えました。

○いつも本山では「お徳を沢山持つて帰ってください」と言っていたいただき、ありがたいことです。山首上人さまのお言葉に続いて大きな声でお誓いしたのですから、しっかりと精進しなくて

は！と思いました。
○久しぶりの御開山会で沢山の仏さまにお会いできたような気がして、本当にありがたいと思いました。

高槻の人

○山首上人さまのお話をお聞きし、心配事や取り越し苦労はやめて、もっと真剣にお題目を唱えようと思いました。
○山首上人さまより、国難の時代の次は必ず良い時代が訪れるので、信じて精進しましょう！とお言葉をいただき、希望が持てました。

○以前と変わらない御開山会に元気で参詣できたことに、大変感謝しています。また先師の墓参も叶い、ありがとうございました。

大阪の人

○荘厳な法要を目の当たりにして大感激でした。山首上人さまの「心配する心で徳を積んで、良くなるように祈り

ましよう」のお言葉が心に響きました。少し前から胃の調子が悪く、心も晴れないことがあったのですが、帰りにはすっかり楽になり、御開山会のすばらしさを身をもって感じました。

○風邪で3日前から熱を出し、無理かと思っていた娘が「何とか行けそう」ということで、前日に迎えに行き、孫とともに我が家に泊まらせて我が家の車で参詣することができました。その喜びは雨も何も苦にならないものでした。コロナ禍やいろんな障害がなかったら、こんな気持ちにはなれなかったと思います。

○欠かすことなく参詣させていただいた。お寺大好き。の祖母が入院したので、僕が家族の代表で来させていただきます。何かと気にかかる毎日ですが、山首上人さまのお言葉に力をいただきました。頑張ります。

和泉の人

○今日からマイナスではなく、プラス



に考え、一日一日慈悲、至誠、堪忍を実践し、精進してまいります。
○山首上人さまの「悪いことの後には必ず良いことがある」とのお言葉に励まされました。一日一日を大切に、三徳の実行に励みたいと思えました。

○家族4人で参加させていただきました。天気も良く、ご奉仕の皆さんから元氣と笑顔をいただき、楽しい一日でした。

神戸の人

○コロナがあったからこそ、今、一つひとつできることが、喜びと感謝ではないと思えました。改めて三徳の実行をお誓いさせていただきました。



○山首上人さまの「心配するよりも祈りなさい」の言葉が身に沁みて、ありがたく思いました。これからは、今まで以上に家族や周りの人に喜んでもらえるよう精進してまいります。

○本堂に座り心を落ち着かせていたら「生かされている」ことへの感謝の気持ちで、胸がいっぱいになりました。体調の悪さや困ったことが少々あっても、御守護をいただいで過ごせていることをうれしく思いました。

淡路の人

○久しぶりの御開山会に参詣できたことに感謝しています。

○法要前に境内で写真を写していただき、良い記念になりました。
○奉仕の方々にお世話になりました。いつもありがとうございます。

岡山の人

○久しぶりに本山に参詣できてありがた



たかった。

○御開山会で4年ぶりに本山参詣が叶って幸せでした。

○御開山会に参詣できて、奉仕の皆さんの笑顔に出会えて幸せを感じました。

福山の人

○法友との再会は、たいへんうれしかった。ご奉仕の方々のご挨拶が、どこ



にいても聞こえてきて気持ち良かった。人の多さがうれしかった。

○本堂の畳に座り、法要に参詣できたことは、ありがたかったです。動画上映では先師の方々のお言葉が、新鮮に心に入ってきました。

○盛大な法要に、心が洗われました。コロナが終わり、良くなることを信じていかなければ、と思いました。

三原の人

○山首上人さまのご法話を拝聴し、法音寺の教えについて心新たにすることができました。これを機に少しでも法音寺の教えを守り、人を喜ばせられるようになりたいと思います。

○最近、今回が最後と思いながらお参りさせていただいておりましたが、次回も頑張ってお参りしたいという思いを持ちました。御開山会にお参りして、沢山のお徳をいただいたお陰です。○久しぶりにお参りできて良かったです。母の写真を持参し、大きな声でお題目を上げさせてもらいました。母も喜んでいると思います。

安芸津の人

○40数年前、生まれて半年の子どもを連れて母と一緒に参りしたことを思い出しながら、今回のお参りをさせていただきます。法音寺はすばらしいです。今日はいっぱいの功徳をいただきます。



いて帰ります。ありがとうございます。

○大悪は大善の来るべき瑞相なり。心配するより信心せよ。山首上人さまはご法話で、これから良いことが世の中に生じるのでしっかりと信心することが大切と、お教えくださいました。

○この日を待ちわびていました。本山の皆さまの優しい笑顔に出迎えられ、厳粛な大法要に参詣させていただきました。今までも何も変わらない、穏やかな時が流れているように感じました。



坂の人

- 大病を乗り越えて、私にとって初めての御開山会にやっとお参りできました。ありがたさで胸がいっぱいになりうれしかったです。
- やっぱり御開山会に行かなければ、この喜びは得られないです。
- 皆でいくことができ、すばらしい笑顔が見られてうれしかった。

福岡の人

- 家族揃って本山にお参りすることができた喜びと、以前のようにマスクなしで会話ができることに感謝した一日でした。
- 「お元氣でしたか」と他の支院の方に声をかけていただき、離れていてもともに三徳に励む法友との再会を喜びました。
- 本山は光に満ちあふれ、仏さまの世界にいるようでした。山首上人さまも神々しく、参詣できた喜びで幸せでした。

た。

田川の人

- 本山に行くことができて本当にうれしかったです。
- 多くの人達の喜びで満ちていて、みんなが笑顔になりました。
- 懐かしい気持ちと、新鮮な感じが入り交じるような感覚で参詣しました。

亀岡の人

- 次の世代の人達にも、一人でも多くこの教えの喜びを伝えていかなければ、と痛感しました。
- 心配が悪いことを引き寄せるのですね。仏さまを信じ、悪い時にはどう受け止めるのか。堪忍し徳を積むことで乗り越えていこう、と考える機会をいただきました。
- 今まで参詣できてあたりまえだと思っておりましたが、そうではなく本当にありがたいことなんだと感じました。

仏教タイムスで御開山会が紹介されました

名古屋・法音寺

4年ぶり大本堂で御開山会

名古屋市昭和区の日蓮宗大乗山法音寺（鈴木正修山首）で11日、御開山会が4年ぶりに制限なしで執り行われた。満堂の本堂で、法音寺の前身である仏教感化救済会以来の4先師に報恩感謝の誠を捧げた。

5月21日、6月4日に続く3座目となる今年の御開山会。小雨に見舞われたものの、早朝から各地の支院から信徒たちが参集した。法音寺一山、各支院主管出仕のもと鈴木山首を導師に

法要を厳修し、読経とお題目が堂内に響き渡った。法要の最後に御経頂戴が行われ、鈴木山首の「よく法華経を持たんやいなや」の発声に続いて、信徒が「よく持ち奉る。南無妙法蓮華経」と応えて唱和。さらに

山首の「よく三徳（慈悲・至誠・堪忍）を持たんやいなや」に「よく持ち奉る。南無妙法蓮華経」と力強く応答した。山首挨拶では、「こうやってみなさんと大本堂で御開

山会を厳修することができて大変うれしく思っている」と述べ、日蓮大聖人の遺文「智慧」国御書」に記されている「大悪は大善の来るべき瑞相なり」という

必ず大善が来ると私は信じている」と明言。700年ほど前、ヨーロッパでベストが流行し、多くの人間が犠牲になったが、終息するとルネッサンスが起こったと紹介した。そして「大悪

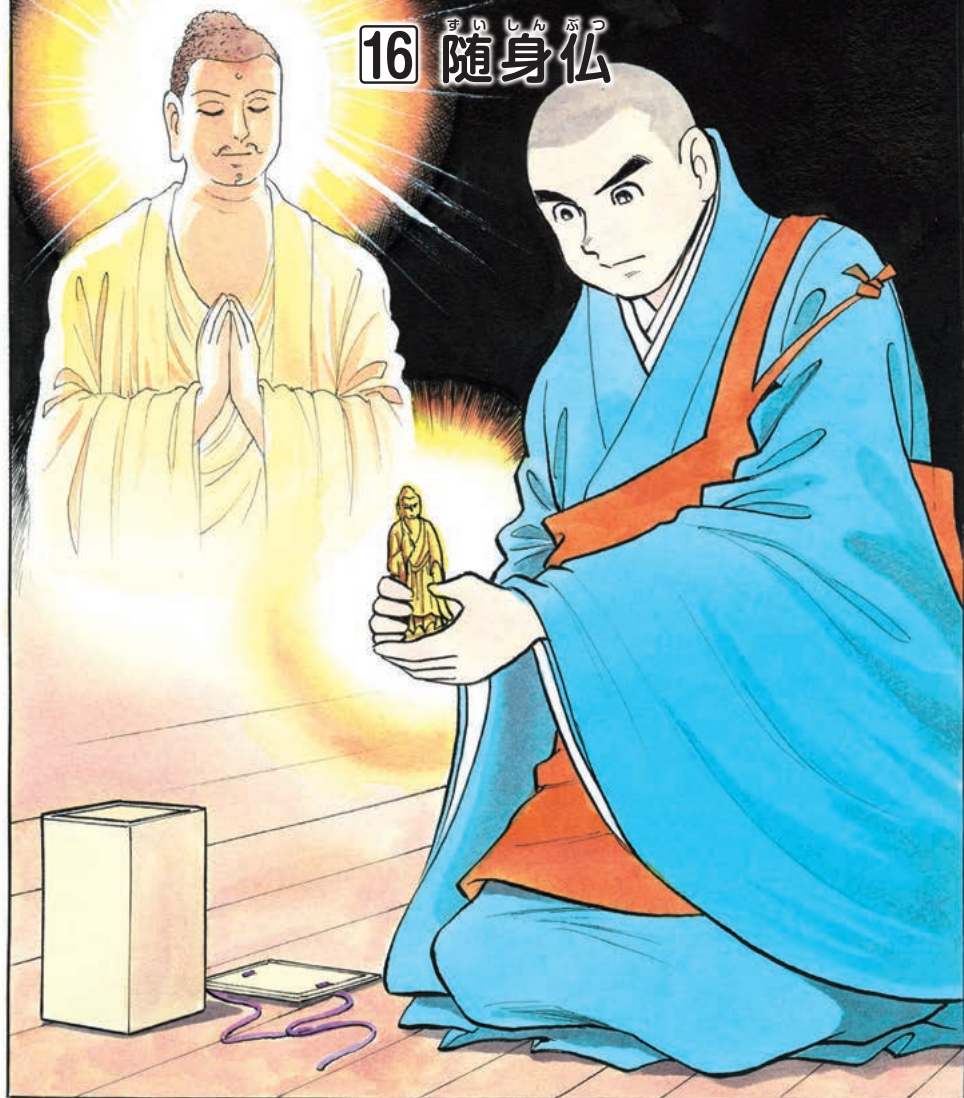
大悪の後には大善が来る

困り、大悪であつた。しかしその後には二祖・村上齋（弘教院殿宗玄大徳）、戦後、法音寺を開いた開山・鈴木修学（泰山院日進上人、日本福祉大 学創立者）、第二世・鈴木宗音（顕修院日達上人）、4先師を追悼すると共に、感謝の念を捧げる。

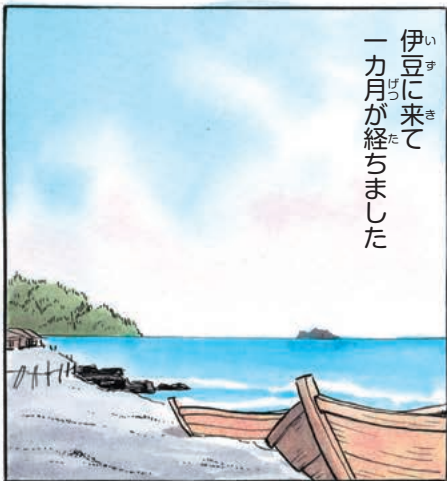
【仏教タイムス 2023年（令和5年）6月22日掲載】

に ち れ ん
日蓮さま

16 すい しん ぶつ
隨身仏



伊豆に来て
一カ月が経ちました



いぬもりやまぶらういせ
船守弥三郎の家



お上人さま
たいへんです
地頭伊東さまの
ご家来が
あなたさまを
探してここへ
向かっています



すへ
お逃げに



心配いりません
わたしは逃げも
隠れもしません

しかし…



御免

お尋ね申す
そなたが鎌倉から
来られた日蓮と
申すお方か？



いかにも！
日蓮は
わたしです



わたしは綾部正清と申します



わたしの主伊東の地頭伊東祐光は原因不明の病のため苦しんでおります

何卒お力を
お貸しください



何卒…



わたしが鎌倉幕府に捕えられ伊豆に流された罪人であるところ存じなので



はい それを承知の上でお願いにまいました
あなたさまは不思議を起こす名僧との噂を聞きました
ならば主の病も治していただけるにちがいありません

ご病気はどんな具合ですか



何日も眠り続けております
もうあなたしかお頼り申すところはないのです

今すぐ伊東の屋敷においでください





お上人さま
お願いです
殿をどうか
お助けください



わかりました
昨日綾部殿にも
申し上げましたが
これからわたしが
言うことを
皆さま お誓い
ください



法華經の功德を
いただくために
心を改めること
経文に 正法の妨げを
すれば罪となると
あります



地獄の心で祈っても
救うことは叶いません
そして手を合わせて
南無妙法蓮華經と
お唱えになつて下さい
天に自分の心が通じるように
心を込めて唱えるのです
よいですね



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



読経を続けて
五日後……



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



南無妙法蓮華經



殿!

と殿が
目をお覚ましに……



誰か……
誰かおらぬか



はい法華經に
説かれる久遠の本師
釈迦牟尼仏です

日蓮殿
あなたは何を自分の
仏としておられるの
ですか



そなた
は?

殿さまのご病氣
平癒のため
ご祈禱をして
くださった
日蓮上人で
ございます



ご気分は
いかがで?
壮快じゃ
起こしてくれ





日蓮は身命をかけての
法華經広宣流布を
お誓い申す

本師釈迦牟尼仏



おおこれは
釈迦牟尼仏のお像
苦しみの海の中より
光を放つてご出現に
なつたとは…

今まさしく法華經を
世に弘めんとする
時期の到来を
暗示されている



祐光殿
病氣は治ればそれで
よいではありません

平生の信心の生活
こそが真に大切な
ことなのですよ



この度はまことに
かたじけのないごさつた

もう心配は
いりませぬな



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

伊東での出来事が
人々にも伝わり
流罪で送られたはずの
日蓮上人でありましたが
かえって伊豆の地にも法が
広まることとなったのです

隨身仏

船守弥三郎夫妻にかくまわれてから約一カ月後のある日、綾部正清という武士が日蓮聖人を訪ねてきました。伊東の領主・伊東八郎左衛門尉朝高が病気のため、ご祈祷を受けたいと使者を送ってきたのでした。伊東朝高は念仏者でしたが、よほど重病だった様子で、「病気が全快した後は法華経に帰依する」という条件で、日蓮聖人は川奈から伊東朝高の館に向かいました。日蓮聖人が朝高の病床で祈祷を続けると、病はたちまち平癒したといえます。

この後、伊東一門は改宗し、領地に草庵を設け、日蓮聖人に寄進しました。

伊東朝高はこの時、漁師の網にかかって海から引き上げられた釈尊像を日蓮聖人に献上しています。これが、日蓮聖人が生涯肌身離さず持っていた隨身仏です。



伊東朝高が寄進した草庵跡に建てられた海光山佛現寺



お寺の本棚



『大白牛車（九）』

包装紙は包装紙

「実に非ず、虚に非ず、如に非ず、異に非ず、三界の三界を見るが如くならず」

実にややこしい文章で、難解なところではありますが、簡単に申しますと、私も人間はいろいろな現象・姿を目で見て、あるいは耳で聞いて、良いとか悪いとか判断いたしますが、仏さまの目から見た姿、つまり本当の相は、私どもの目で見るとか悪いとか、大きいとか小さいとか、きれいとか何とかというものを通り越している、ということです。その奥にある本当の姿が「実に非ず…」と説かれているのです。

例えば、ここに本と机があります。これは全然違う物です。しかし突き詰めて考えていきますと、同じ物と言えるのです。と申しますのは、本は紙でできております。その紙は木から作られます。といたしますと、両方とも、そのもとは木、となるわけです。

また石油類もそうです。ガソリンになる前は、真っ黒のドロドロとした原油であります。この原油からポリバケツができ、薬もできます。食料品も最近ではできるようですが、表面に形として現れて





きた姿は違っていても、そのもとは同じなのです。

紙とか木とか石油だけではありません。ごく身近な、人間を見る時にもこうしたことは言えるのです。その人の学歴で判断したり、着ている物などで判断することがよくあります。しかし考えてみますと、一流の学校を出たから立派な人だとか、高価な物を身につけていれば立派だとか、そんなことは決してありません。もちろん、いずれにしましてもないよりあった方がいいかもしれませんが、それはいわば包装紙のようなものです。私どもはどうしても包装紙だけを見て、良い・悪いの判断をしがちですが、そのようなことは慎むべきだと思います。

また、ともすると私どもは短気に、と申しましようか、目の前にあることだけを見て、あいつは良いやつだ。あいつは悪いやつだという判断をいたします。しかし、いくら悪いと言っても百パーセント悪い人はいません。逆にいくら良い人と言っても、百パーセント良いということもありません。

良い人とはどういう人かと申しますと、悪い所が二、三十パーセントあるけれど、それより良い所の方が多い人のことを言うわけです。ですから、良いと思う人がいつも完全に良いとは言えないのです。

良い人となると何でも良いと思ったり、逆に悪い人となるとすべて悪いと思うのは間違った見方です。そうではない、本当に物事をよく見る目を養わないといけません。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (13)

無量義經 説法品第二

菩薩摩訶薩、是の如き眞実の相に安住し已って、発する所の慈悲、明諦にして虚しからず。
衆生の所に於て眞に能く苦を抜く。苦既に抜き已って、復為に法を説いて、諸の衆生をして快樂を受けしむ。善男子、菩薩若し能く是の如く一切の法門無量義を修せん者、必ず疾く阿耨多羅三藐三菩提を成ずることを得ん。

「菩薩摩訶薩がこのような覚悟をもって、大勢の人を同じ道に導くその慈悲の行いというものは、はつきり根柢のあること（明諦）であるから立派な結果となって現れるのである」。

「衆生の所に於て眞に能く苦を抜く」＝現在の地位・職業等を離れないで、商売をしながら、また、役所等に勤めていながらその所において修養を積み、意義ある毎日を送り得るように教え導いて、苦の根本である種々の迷いを除き終わったら、また、多くの人々に喜びを与えていくということです。「苦を抜き、快樂を与える」のが、仏さまが説法をなさる目的であるのですから、仏さまは、

「菩薩の皆さん、心の根本が定まり、無量義の教えをしっかり把握し、大勢の人々にもそれぞれ利益を与え、また、他の人々をも救う力を与えられるように修行を続けることによって、ついに『仏の覚り』が成就できて、やがて『仏の境界』に到達することができるのです」と教え、励まされているのであります。

善男子、是の如き甚深無上大乗無量義經は、文理真正に尊にして過上なし。三世の諸仏の共に守護したもう所なり。衆魔群道、得入することあることなく、一切の邪見生死に壊敗せられず。是の故に善男子、菩薩摩訶薩若し疾く無上菩提を成ぜんと欲せば、应当に是の如き甚深無上大乗無量義經を修学すべし。

「善男子よ、無量義を説く教え『大乘無量義經』は、その中に含まれている道理が真正であって尊く、少しの誤りもない。この教えは、すべての人を『仏の境界』にまで到達せしむる道筋を教えた教えであるから、三世の諸仏がともに守護され、力を合わせて守ってくださるのである。どんな悪魔が来ても障りをすることはできないし、仏の教えより低い教えを説く群道（外道）のものが来ても、仏の教えがしっかり自分のものになっていけば、動かされるようなことはない。

また、正しい道を踏み違えるような邪見を起こしたり、人生のいろいろな変化でぐらぐらしたり、自分の信ずるところが壊されるといふこともない。であるから、もし菩薩摩訶薩が無上菩提に達しようとするならば、今、この無量義經を聞いて心で修行を続けていくべきである」。



やさしい仏教

盂蘭盆…ご先祖さまをご供養する行事です。

《盂蘭盆の由来》

餓鬼道に墮ちた目連尊者のお母さんを救うお話が由来です。昔、お釈迦さまのお弟子に、神通第一の目連尊者という方がおられました。目連尊者のお母さんを青提女（しよくだいにょ）と申します。すでに亡くなっていたお母さんは、いかなる境遇におられるかと、目連尊者は天眼通でご覧になりました。するとお母さんは思いもよらぬ、餓鬼道というところで、食べるものもなく痩せ衰えた姿で、絵に描かれる餓鬼そのままの姿でした。

目連尊者は、ただちに神通力でご飯をおくられました。お母さんは、喜んでその一椀のご飯を食べようとすると、ご飯から炎が上がり食べることができません。目連尊者は炎を消そうと、神通力を以って大雨を降らせました。その雨は火に注いだ油の如く燃え上がって、お母さんの身を焼き、七転八倒の苦しみに遭いました。

目連尊者は、自分の力では手を施すすべはないと悟り、お釈迦さまの前へ駆けつけ救いを求めました。



お釈迦さまは「人を救い助ける聖僧の集まりがあるので、聖僧に食べ物のご供養をしない」とおっしゃいました。

目連尊者は大いに喜び、百味の飲食を聖僧にご供養しました。その施しの功德によって目連尊者のお母さんは、一劫という長い間餓鬼道に苦しまなければならない罪が除滅し救われたというお話です。

施餓鬼…亡くなった縁ある人の追善供養をする行事です。

《施餓鬼の由来》

ある時、阿難尊者がうたた寝をしていると餓鬼が現れて、「お前は三日の内に死ぬ。そして、私と同じような醜い餓鬼に生まれ変わるだろう」と言います。

驚いて阿難尊者はお釈迦さまに助けを求めます。お釈迦さまは「その餓鬼をはじめ、餓鬼道で苦しむ人々に施しをしない」と言われます。そこで阿難尊者は大勢の餓鬼に食べ物を施します。その功德によって、寿命を延ばすことができました。

《縁ある人を救う施餓鬼供養》

お盆は身内の方々の追善供養、お施餓鬼は身内以外の方々をご供養します。今まで縁をいただいた方に追善供養をしましょう。



盂蘭盆・施餓鬼法要
YouTubeはこちらから!

法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



**福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子どもの
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

私の心に残る

2つの思い出

10年間の出会いと感謝

私は、知的障がい者支援施設で生活支援員をしていました。この施設では、週末になると自宅で過ごす週末帰宅があり、その当時は帰宅実習と呼んでいました。私はこの頃、ケアマネジャーの資格を取得し、特別養護老人ホームに転勤することになりました。

ケアマネジャーは、試験に合格した後、研修を受けなくてはなりません。研修にはグループワークがあり、同じグループの方が声を掛けてくれました。「泰山寮の先生ですよね」とおっしゃ



います。私が「はい、そうです」と答えると、その方は、「私はTYの姉です」とおっしゃいました。TYさんは、私が勤務していた施設で暮らすご利用者で、お姉さまは看護師をされていました。私は、TYさんの担当をしていたので、帰宅の時には、帰宅簿を記載していたのですが、お姉さま

は、「帰宅簿は全部取ってありますよ」と満面の笑みで話され、とてもうれしかったことを覚えて
います。

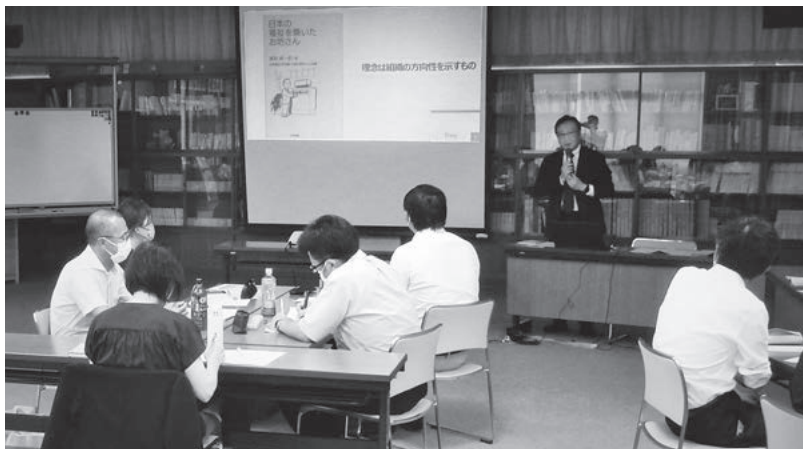
これは特別養護老人ホーム安立荘で、介護職員
をしていた時の話です。知的障がいのあるFさん
と認知症のあるSさんと一緒に、釣り堀に出掛け
たことがありました。Fさんが「釣りが得意だっ
た」と話していたので、「いつか釣り堀に行きま
しょう」と約束していたのです。しかし、利用者
さんには釣れるわけがないと思っていたので、私
がたくさん釣って雰囲気だけでも楽しんでいただ
こうと考えていました。さて、釣り堀に着いて、
早速竿を出しました。すると、Fさんに一匹目が
すぐにSさんにもあたりが。一緒に付き添ってい
たパートさんが網で掬い上げました。結局、Fさ
ん3匹、Sさん2匹、私が0匹という釣果となっ

たのです。この日から、お二人が私の釣りの師匠、
いやいや生意気な私に謙虚さと敬いの心を教えて
くれた人生の大師匠となりました。

泰山寮 生活支援員 相馬谷 貴弘



鈴木修学先生の思いを引き継ぐために



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会 ～基本理念とその背景について学ぶ～

昭徳会は昨年度、創立110周年を迎えました。そして今年度、今一度、原点に立ち返り、今後も質の高い福祉サービスを提供するために、法音寺と昭徳会福祉の軌跡を伝える歴史教育について、全職員が学ぶ取り組みを行っています。

その方法として、「基本理念（幸福）とその背景」という冊子を全職員に配布し、各施設で実施する研修などで活用していくこととしました。

この冊子は、障がい者支援施設 小原寮の昨年度の職員研修にて、弓削多一朗 昭徳会総務部長（法音寺事務長）が講義を行った内容をまとめたものです。

これまでも、昭徳会の正規職員に対して、昭徳会の歴史や目指す福祉などについて、法人研修が行われてきました。しかし、研修に参加できる職員は、業務の関係上、一部の職員となります。また、非常勤職員に対しては、法人研修に出席



する機会がなく、各施設にて対応する状況となっていました。

昭徳会は、福祉4分野（保育・児童・障がい・高齢）、19施設61事業を運営しており、職員数も約800名います。この内、約320名は非常勤職員です。全職員、年齢、出身地、生活習慣、社会経験などが異なり、さまざまな価値観を持っています。

昭徳会の基本理念は、「幸福（しあわせ）」ですが、この理念についても具体的に言語化し、共有し、顕在化させなければ、人によって解釈の仕方が異なってしまいます。



そのため、冊子『基本理念（幸福）とその背景』を作成し、併せて配布することとなりました。また、令和5年7月3日には、課長、主任グループリーダーを対象とした法人研修（監督者研修）の中で、弓削多総務部長が講義を実施しました。

基本理念は、組織の方向性を示すものです。そのため、理念の捉え方が定まっていけないと、現場職員の価値観が優先されてしまいます。個人の価値観が優先されると、チームワークの形成がむずかしくなり、個人への負担が大きくなります。このような状況では、質の高い福祉サービスを提供することはできません。そのため、全職員が基本理念「幸福（しあわせ）」の意味を正しく理解し、同じ方向に進むことが求められます。

鈴木修学先生（昭徳会初代理事長）が、どのような思いで福祉活動に取り組まれてこられたのかを理解し、職員一人ひとりが、もし修学先生だったら、どのように考えられるのだろうか、というアンテナを持って、利用者の支援に取り組んでいく必要があります。そして、修学先生が望まれた理想の福祉人像である「いつもおだやかで、誰に対しても分け隔てなく思いやりをかけ、真心を込めて親切にし、相手の喜びを自分の喜びとし、周りの人を幸せにする仏さまのような人」に近づくことができるように、法人全体で学び続けていきます。

法人本部署務局 人事課長 緞 純司

トライアスロンU23・ジュニア選手権で、本学学生がアジアチャンピオンに輝きました

～日本福祉大学～



写真提供・日本福祉大学

写真中央 林さん

6月24日に愛知県蒲郡市で開催された『アジアトライアスロンU23・ジュニア選手権』にて、陸上競技部の林愛望選手（スポーツ科学部1年）が見事優勝し、この世代でのアジアチャンピオンに輝きました。

高校生だった昨年も、日本トライアスロン選手権で見事優勝し、30年近い大会の歴史の中で高校生として初めて日本一になるなど、トライアスロン界期待の星として、今年4月に日本福祉大学に入学しました。

強さの秘訣は、小学生からの日課として行っているランニング。小学校6年間で校内マラソン学年トップを守り、「自信がついた」と語っています。小学1年生で水泳を始め、高学年の



頃、水泳と陸上の記録会に参加した際に今のコーチに声をかけられ、トライアスロンを始めたそうです。トライアスロンは水泳・自転車ロードレース・長距離走の3種目を順番に連続して行う耐久競技ですが、本人が最も得意なのが長距離走。コーチも「きつくなるところから、前に出ていけるところが彼女の最大の強み」と述べている通り、これまでの大会でも長距離走で他を圧倒しています。



コーチの自宅が農家ということもあり、定期的に田植え等のお手伝いをしているのは本人にとって「息抜き」なのどうか。コーチは彼女にバランスの取れた栄養を摂ってもらうために、種類豊富な野

菜を作って食べさせてくれていたのだそうです。大学に進学してからはコーチからいただく野菜も使いながら、自炊生活に励んでいます。

そんな彼女の今の目標は2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会と、2028年にロサンゼルスで開催されるオリンピックに日本代表として出場すること。これからも大学で練習に励み、多くの大会で記録を更新してもらいたいと思いますので、ぜひ応援をよろしく願います。

学園広報室 富田 貴寛

〈アジアトライアスロンU23・ジュニア選手権(2023/蒲郡) 詳細〉

開催日…2023年6月24日(土)

開催地…愛知県蒲郡市

(浜町・竹島・市民会館周辺特設会場)

競技距離…スイム750m(1周)、

バイク20km(5km×4周)、

ラン5km(2.44km×2周+0.12km)

幸せの種まき

法華経を如説修行している人の
話す言葉は、聞いた人がみな
喜びを感じます

人を元気づけ喜ばせる言葉が自由に使えたら、
大変良いことです

大乗山 法音寺

編集後記

今月号では「御開山会特集」の第二弾（18頁〜27頁）として、各地から参詣された方々の喜びの声を集めました。法友との再会を喜ぶコメントも多くありましたが、やはり久し振りに味わう臨場感に「感動した」という声が圧倒的に多かった印象です。当日も、御経頂戴の場面では山首上人さまのお問いかけに対し、参詣された皆さんの「よく持ち奉る」の声の大きさに、感激の大きさが表れているように感じました。

今回の皆さんのコメントを読んでいると、法音寺の本堂は日常から隔絶された聖域なのだと思わされます。その聖域で心静かに手を合わせ、お題目を唱えることで、ある方は亡きご家族に思いを馳せ、またある方は日々を振り返って心を整える。そして魂を浄化する。その心地良さが格別であることを改めて感じた方が多かつたのだらうと思います。

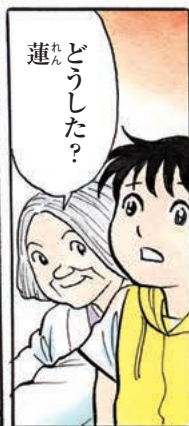
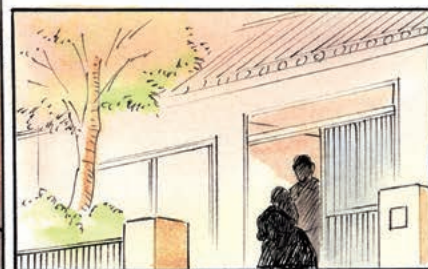
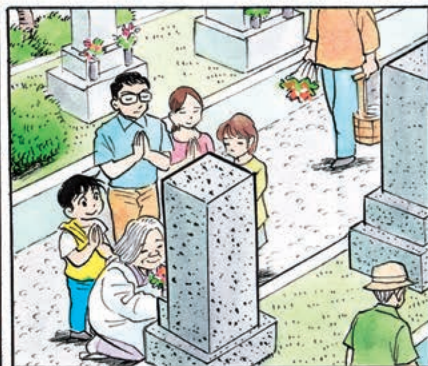
「法音寺には先師の積まれた功德がたくさんありますからお持ち帰りください」

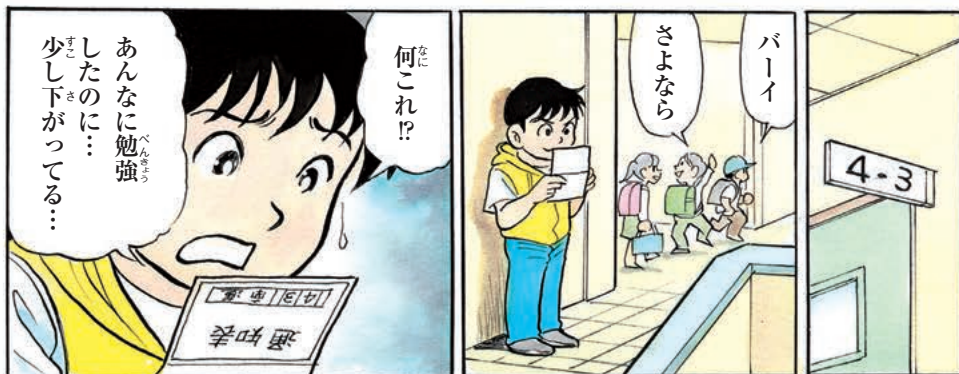
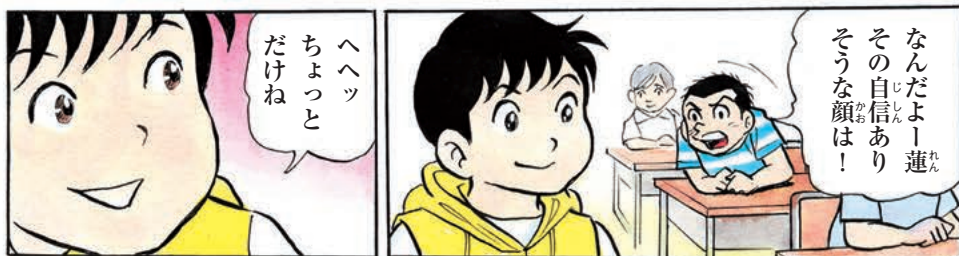
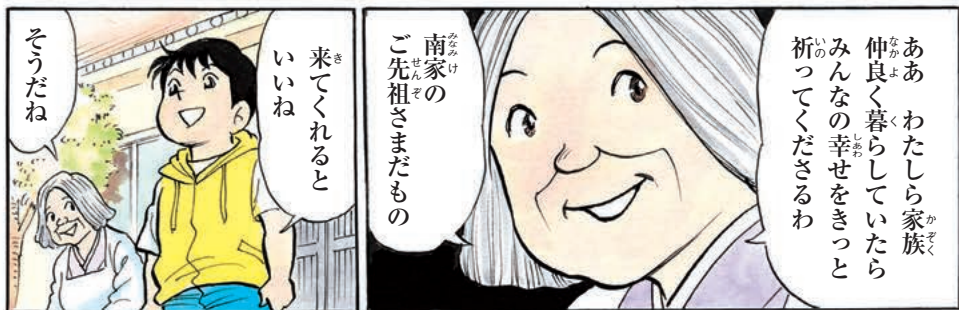
日達上人のお言葉が今も瑞々しく心に響きます。

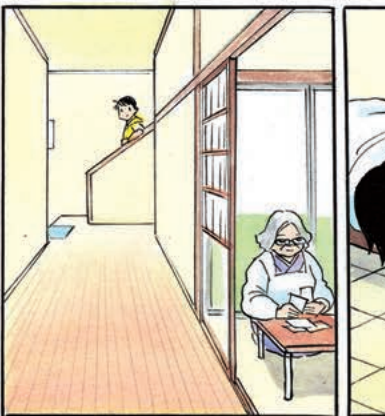
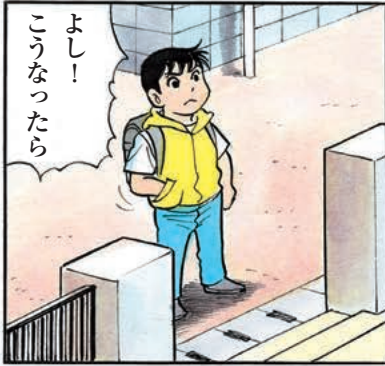


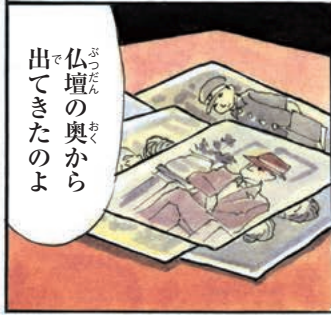
とお せんぞ 遠いご先祖さま

竹中 淳

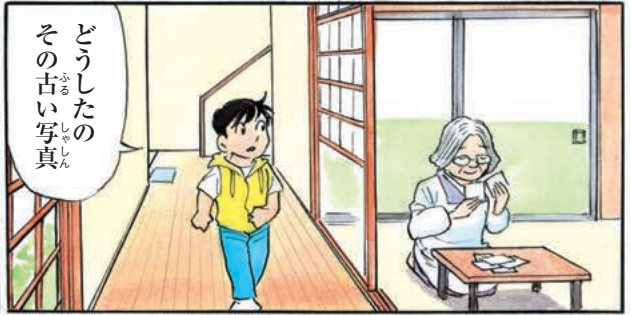








仏壇の奥から
出てきたのよ



どうしたの
その古い写真



ホラこれ見て
じいちゃん
子どもの頃

へえ
じいちゃんも
こんな時が
あったんだ



蓮が知ってる
のはじいちゃん
だけだね

ご先祖さま
だろうけど
わたしも知らない
方ばかり



じいちゃんの
じいちゃん
かあ

遠い
ご先祖さまね



へえ

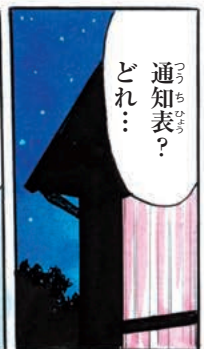
抱っこしてるのが
祖父 徳三…
じいちゃんの
じいちゃん
ってことね

徳二郎 10歳
って書いてある



経子がよく
頑張ったんだな

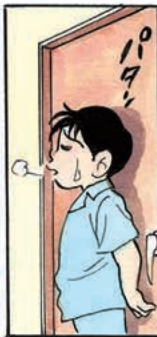
蓮は学校に
通知表を
忘れてきたから
明日取ってくる
んだって…



通知表？
どれ！



もう
どうすりや
いいんだあ



じゃボク
そろそろ
寝ようかな

え まだ
7時だぞ



勉強も前より
頑張ったのに
成績はあまり良くなって
今ガッカリしてることもな

蓮は廊下のゴミを
拾ったりトイレの
スリッパを揃えたり
先生や友達の手伝いもしてるよな

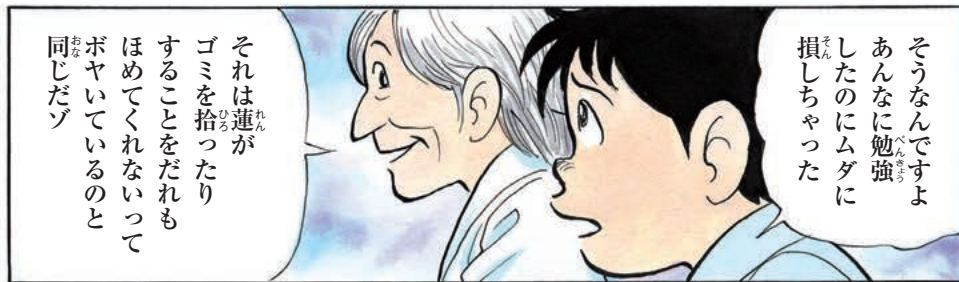


この家のこと
ならなんだって
知ってるよ
もちろん蓮の
こともな

だれ？呼んだよね
ボクのこと知ってるの？



蓮



そうなんですよ
あんなに勉強
したのにムダに
損しちゃった

それは蓮が
ゴミを拾ったり
することをだれも
ほめてくれないって
ボヤいているのと
同じだゾ

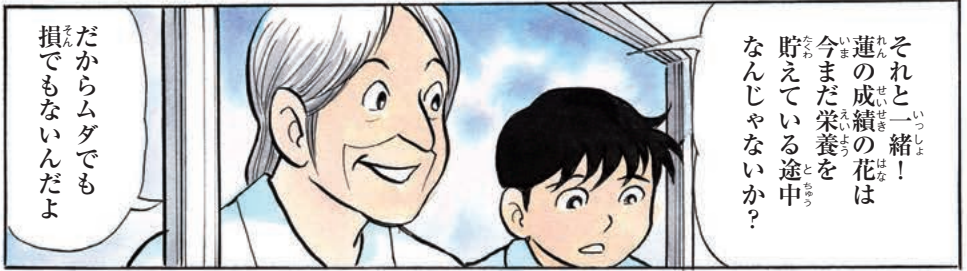


外の花をもらん
花は種をまいて
花を咲かせる
までには…



いろいろな栄養を何ヶ月もの間
貯えなければいけないんだ

一朝一夕に花が
咲くわけじゃないよ



それと一緒！
蓮の成績の花は
今まだ栄養を
貯えている途中
なんじゃないか？

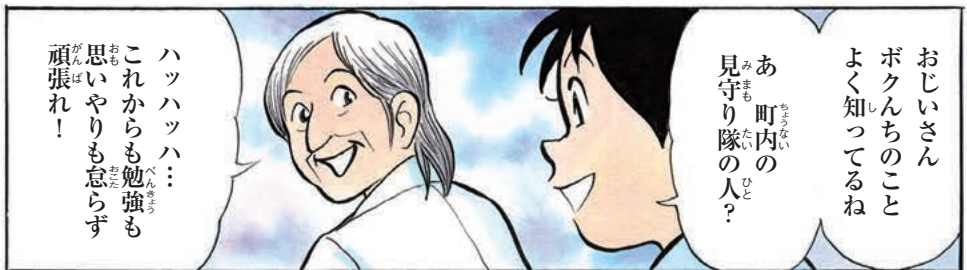
だからムダでも
損でもないんだよ



でも父さんや
母さんが
通知表を見て
そう思っ
てくれるかな



大丈夫！
あのふたりなら
わかってくれるよ



おじいさん
ボクんちのこと
よく知ってるね
あ、町内の
見守り隊の人？

ハツハツハ…
これからも勉強も
思いやりも怠らず
頑張れ！

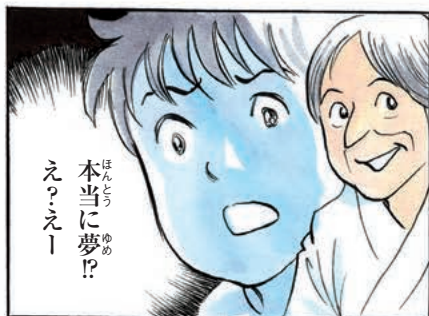


ああ
それが
いいな



おじいさん
ありがとう
ボク父さんや
母さんにウソ
ついてた

ちゃんと本当の
ことを話すよ



ほんとう
本当に夢!?
え?え!



あれえ
夢か…



蓮!
起きなさい
学校に行く
んでしょ



夢の中だけ
ちゃんと
来てくれたんだ

この人だ
このおじいさんだ



ばあちゃん

ばあちゃん



昨日の
じいちゃんの写真
もう一度
見せて!



ごめんなさい

ウソは二度と許しませんよ



え？

でも蓮は頑張ってるわね



成績少し落ちたね



父さんは今いないけど父さんもきっとこう言うと思う

学習生活態度

これまでは あきらめが早かったが最近粘り強く取りくめるようになり私のお手伝いも積極的にやってくれます。友だちが困っている時は助けあげられる たのしい子です。

担任 田中



ホラここに読んでみて

先生も蓮をよく見てくれてると思う



頑張れ！



うん

成績は数字だけじゃないわ これからも頑張るなさい

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和5年8月号・No.646・令和5年8月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社